

『和泊町の歩み』執筆者

リレーメッセージ

## 和泊町制施行の行政の推移

現代（行政）編執筆リーダー

前田 修一氏（元和泊町副町長）



昭和16年3月、当時の山下兼道村長は「村を町となす件」を議案として提出し満場一致で可決された。そして太平洋戦争勃発7か月前の同年5月に和泊町制が施行されている。それから80年が経過し歴代の町長による農業を中心とした産業の振興と、教育・文化の町を行政推進の柱として町政が運営され、町民の勤勉性と進取の気性、献身的な努力に裏打ちされ、本町は県内でも有数の自治体として大きな成長を遂げてきた。

町制施行80周年記念事業として、町誌を再編するにあたり、行政分野における各種事務事業の内容・成果等を和泊町制施行後の歴史として記述し、後世に残していくこととした。商工・観光部門を川畑裕一氏、農業部門を大福勇氏、教育部門を平山和仁氏がそれぞれの専門性を生かし、現担当部署と綿密な打ち合わせのもと執筆していただいた。その他の自治行政、消防防災、住民・保健福祉、土木、上下水道等すべての担当課において、課長以下担当職員にそれぞれの所管する事務事業の実施状況、実績等について詳細に記述していただいた。

昭和55年に町制施行40周年記念事業として計画、その後発刊された和泊町誌に加えて、新しく発行される「和泊町の歩み」が後世の和泊町民をはじめ、関係者の大きな誇りとなり参考歴史書として大いに活用されんことを祈念申し上げる。

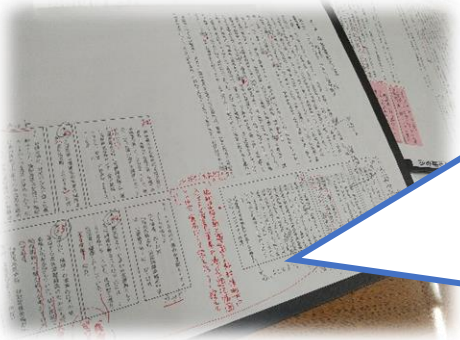
# 編さん室の編集作業 **どんなことをしているの？**



～基礎的な資料の収集から校正、仮レイアウトまで～

和泊町の歩み編さん室の大切な仕事は、原稿の編集作業です。今回は、編さん室でどんな作業を行っているのかを少しだけ紹介します。

## 其の壱 原稿校正



執筆者による原稿の校正作業は、誤字脱字や分かりにくい表現はないか、記述内容に誤りなどはないかなどの観点から行います。スタッフのチェックが済んだ原稿は、訂正や調整、執筆者との確認事項など多岐にわたる書き込みでいっぱいになります。



## 其の弐 基礎資料収集、写真撮影(文化財の現況確認)

原稿内容に関連する基礎的な資料を収集したり、町誌に掲載する写真を撮影することもあります。写真撮影の際に文化財等の現況確認もでき、非常に有益です。(右の写真は内城字のチュラドゥールにお邪魔した際の一場面です)

収集した基礎資料をもとに、記述内容の正確性や整合性を確認する裏付け作業も行いますが、これは時間と根気を要します。



## 其の参 仮レイアウト

正式なレイアウトは契約印刷業者が実施しますが、全体頁数確認などのため編さん室でも仮レイアウト作業を行います。



いそがしいわ～



### 『和泊町の歩み』編さん室(事務局)

〒891-9112

大島郡和泊町和泊 591 番地

町立図書館 1階 郷土資料室内

TEL: 0997-92-3690 (役場内線750)

担当: 木場浅葱(学芸員) 先田光演(執筆編集員)

甲恵子(事務・編集) 市来美穂(編集)



## まーちもーり

歩み編さん事務局では古い写真や古文書等の資料を探しています。提供いただいた資料は複写した上で必ずお返ししますので、お心あたりの方はご一報を！事務局は町立図書館内です。いつでも、お気軽にお立ち寄りください。

